



おひさまだより



ゆいの杜こども園 R7 秋号

イチョウやもみじの葉も色づき、紅葉のきれいな季節となりました。園の子どもたちは散歩に出かけては、色づいた葉っぱや木の実をたくさん集めて、秋の自然を楽しんでいます。今回は、秋のあそびの様子をご紹介します。

◎秋の自然がいっぱい・・・！

長く暑すぎる夏がやっと去り、戸外遊びや散歩が楽しめる季節になりました。

子どもたちは、芸術の秋！とばかりに、散歩や園庭で集めた自然物を使って制作を楽しんでいます。散歩で集めたいろんな色・形の木の実や葉っぱは、園にある紙や木切れ等も使い、工夫しながらいろんな作品になっていきます。

素材からイメージして「これで恐竜作る！」「この葉っぱをつけて顔にする！」などというんな発想が、どんどん膨らんでいきます。自然との出会いは、子どもの発想や情緒の育ちに大きく影響します。



◎おもほりしたよ！

長靴を履いてワクワクしながら畑まで歩いて行った子どもたち。いろんな大きさ、いろんな形のおもほり掘って友だちと比べたり、根っこのひげの長さや葉っぱの形を比べたり…。いろんな発見を楽しんでいました。自分で掘ったおもほりは、自分のリュックに入れて園に持ち帰りました。そして家へのお土産に！次の日「お芋の天ぷら食べた！」「おいしかった！」とうれしそうな笑顔でいっぱいでした。

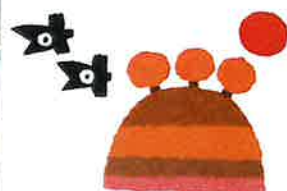
おもほりの後は、お芋の絵を描いたり、絵本を見たり、クッキングを楽しんだり…。いろんな活動につながっていきます。子どもたちのひとつの体験は、このようにいろんなあそびへと広がり、子どもたちの育ちになっていきます。そして不思議やワクワク、いろんな感情も芽生えます。



◎戸外あそびがいろいろ・・・！

この時期、大きいクラスの子どもたちは、サッカーやドッチボール、大なわとび、鬼ごっこ・・・等、友だちと一緒にするあそび、ルールのあるあそびを楽しむことが増えてきます。あそびを通していろんな体の使い方を身に付けていきます。

また、遊びながら、うれしかったり、悔しかったり、もっとやってみよう！がますます増え、からだも心もグングン育つ季節です。



※子育てや園に関するご相談は、随時受付けています。先ずはお気軽にお電話ください。

ゆいの杜こども園(0748-23-2222)